

郷だより

No.245

社会福祉法人大阪福祉事業財団
三島の郷高槻市大字原924-4
電話 072-688-0768

今月の企画

- | | |
|------|------------------|
| 1面 | メーデー参加 |
| 2・3面 | 日中活動
*午前の取り組み |
| 4面 | トピックス |



とどけ 私たちの声

5月1日はメーデー。
「職員をふやしてほしい」
「お給料ふやしてほしい」
と切実な声をプラカードに書いて
参加しました。
仲間の会では施設の暮らしをど
のように良くしていくのが日頃
の議題ですが、施設の中だけでは
解決できない国などの制度の問題
については、メーデーや対府交渉
などに参加しながら皆で話し合っ
た内容をアピールしてきています。
暑い一日ですが、帰ってきた方
たちに聞くと、
「がんばって歩いてきた」
「大きな声で訴えてきた」
と晴れやかな顔で感想を述べられ
ていました。

新たな グループホームが 開所しました



5月8日(日)新築
移転ハイジ・あすなろ
のお祝の会を行いました。
建設に携わって頂
いた業者の皆さんや土
地提供者・利用者・家
族の方にお越しいた
きました。



高齢になって今まで
通りの生活が続けられ
るよう配慮した建物が
出来ました。個室には
天窓があり明るく広々
とし、みんなが集うリ
ビングには床暖房を設
置しています。環境が
整いより一層支援の充
実を行い安心して楽し
いホーム作りを目指し
ていきます。
【岩本】

作陶がんばります

今年度より、たけの
この利用者が午前中三
島の郷の陶芸班作業棟
で、陶芸作業に取り組
んでおり、思い思いに
お皿や茶碗・湯呑等を
作っています。



新入所の岩越さんは
たけのこから三島に
来られたので、お互い
顔を合わせて楽しそう
にしている姿が見られ
ています。

よろしくお願いします

実習生活は楽しく、や
りがいがあります。アツ
トホームな施設の雰
気の中で職員の方と利
用者の方が生活されて
おり、その中で学ば
せていただいていること
にとても満足していま
す。実習ではすぐに評
価が返ってくるので、
もっと頑張ろうという
気持ちが強くてできま
す。残りの実習で自分
たちの関わり方を見つ
けていきたいです。

京都福祉保育専門学院
実習生

新入所の方のご紹介

高槻市 いわこえ ゆきのぶ
岩越 教将さん
(5月1日付)



行事予定

- | | | | | |
|----------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 5月26日
ガレージセール
(浪速商事) | 5月28日
シルクアート公演
(手品ショー) | 6月8・9日
一泊旅行
(城崎方面) | 6月18日
手仕事サロン
(作品展示販売会) | 6月24日・29日
ギャラリー・登美屋
(作品展示販売会) |
|----------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------------------|



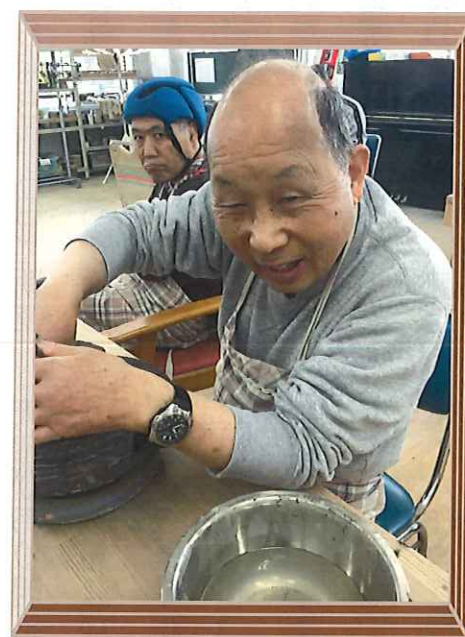
「私がおらんかったら…」

今年度からは洗濯物の仕分けも職員の仕事になりました。ただし今まで洗濯班でお仕事されていた方は「私がおらんかったら大変やろ！」と言って手伝ってくださいます。



「動けんようになったら、かなわん」

午前中のプログラムの中でもリハビリは大切な取り組みです。しっかりと体を動かして、いつまでも若々しく過ごしていただきたいものです。



「俺のコップを見てくれ」

各作業班持ち回りで作業棟の開放もしています。現在は結びおり班の井上さんも、久しぶりに陶芸班に参加してコップ作りに精を出されています。



「イチゴ食べたいです！」

こけももユニットではイチゴとジャガイモを栽培しています。朝の涼しい時間帯に水やりを行ない、収穫を心待ちにしています。



「何を作ろうかな？」

午前中の取り組みの一つとして創作活動や絵画クラブがあります。季節に合わせた飾りつけを、職員ともに丁寧に仕上げていきます。絵を描くのが好きな人・切り取って貼り付けるのが上手な人、それぞれの力を合わせてできあがります。



「ドライブ行ってきたよー」

今まで外に出掛ける機会が少なかった方も、ドライブを選んで初夏の風吹く中、散策を楽しまれています。本当にいい気分転換になります。

「利用者さん一人ひとりのニーズに合った活動を保障したい」「高齢化に対応した実践を具体化したい」との思いから、昨年度「日課検討委員会」を設け議論を重ねてきました。

その結果、午後はこれまで通り作業、午前は個別支援を中心とした日課に変更し、新年度がスタートしました。

そこで今号では、生まれ変わった午前中の活動の様子をご紹介します。

それぞれの利用者に合わせたプログラムを